

第4回和光市レベル4モビリティ・地域コミッティ 議事要旨

1. 日 時： 令和7年10月27日（月） 14:00～15:00
2. 出席者： 出席委員名簿のとおり 資料1
3. 議 事： **【議事事項】** 資料2
 - (1) 自動運転サービス導入事業に関する令和7年度以降の事業計画（案）について
 - (2) 第3期社会実証の実施方針（案）
 - (3) 和光市レベル4モビリティ・地域コミッティの構成員追加について**【報告事項】** 資料3

第5回和光市自動運転サービス導入事業におけるワーキングの開催結果

4. 要 旨

- (1) 議事事項1「自動運転サービス導入事業に関する令和7年度以降の事業計画（案）について」及び議事事項2「第3期社会実証の実施方針（案）」を、資料2を基に説明し、審議した。
⇒ 採決結果：賛成多数で可決

<委員からの主な意見・質疑内容>

- ・自動運転と在来交通手段（車の利用抑制）の概念を明確に区分し、在来交通との連携のために地域公共交通計画との連携が不可欠であるため、その整理を検討してほしい。
→当該連携を今後の重要な課題として認識し、来年度の地域公共交通計画の検討過程において、関係者と協議し、前向きな連携をとれるように取り組む。
- ・インフラ連携システムが車両制御とどのように連携するのか、また、その検出精度をどのように検証するのか。
→インフラ連携システムから得られる情報は車両制御には連携させず、添乗員のタブレットへの通知に留める。検出精度については、添乗者が目視で確認した結果と突き合わせる方法で検証を進める。
- ・将来的に必要な立ち乗り検証を安全にスタートするため、システム事業者や路側機に関わる支援・サポート体制を構築してほしい。
→安全性を第一に考え、立ち乗りの実施に向けた具体的な支援策やサポート体制については、引き続き関係者間で協議を進める。

・「地域公共交通 DX・コンパクト+ネットワーク促進事業補助金」の事業終期は令和 8 年度の予定である。今後も引き続き自動運転普及策を検討していくが、令和 9 年度以降の状況については、随時情報提供させていただく。

→補助金の事業終期を念頭に置きつつ、今後も引き続き自動運転サービス導入事業に活用できる新たな補助金を模索する。

(2) 議事事項 3 「和光市レベル 4 モビリティ・地域コミッティの構成員追加について」を、資料 2 を基に説明し、審議した。

⇒ 採決結果：賛成多数で可決

<委員からの主な意見・質疑内容>

なし

(3) 報告事項「第 5 回和光市自動運転サービス導入事業におけるワーキングの開催結果」を、資料 3 を基に説明し、意見を確認した。

<委員からの主な意見・質疑内容>

なし

以上